



せせらぎ

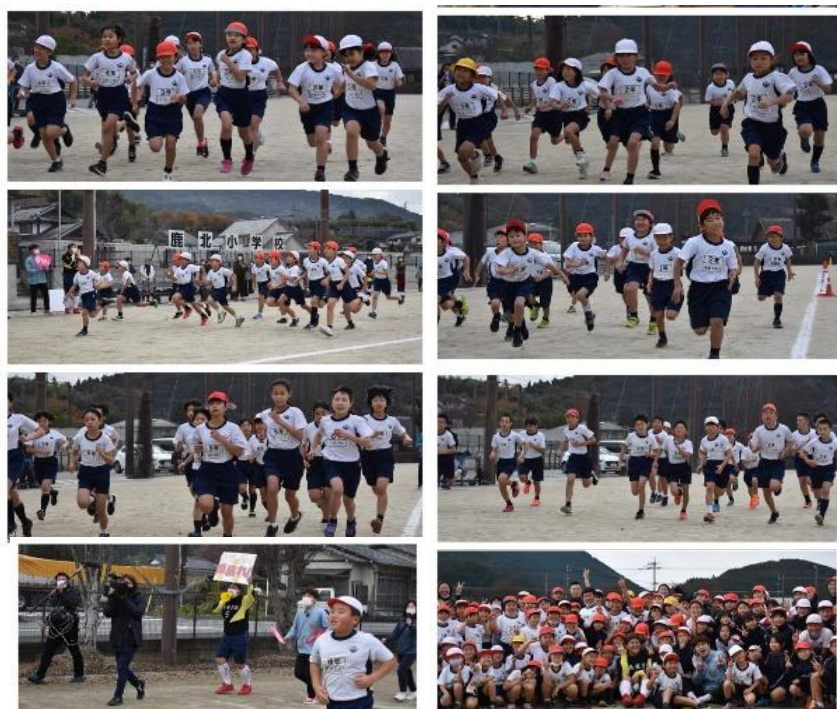
鹿北小学校便り
第9号
令和3年12月
文責 鶴田 史子

☆授業参観・持久走大会・学級懇談会（PTA 研修）・もちつき大会☆

12月10日（金）5年生の餅つき大会、授業参観、持久走大会、PTA研修会などたくさんの行事を実施しました。保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございました。

5年生は、広見農業同志会の皆さんの支援を受け、田植え、稲刈りを行い、当日の餅つきに至りました。昨年、実施できなかった6年生も急遽加わり大盛り上がりとなりました。

授業参観も5カ月ぶりに実施できました。



そして、持久走大会。例年授業参観と別日に行っていたものを、多くの保護者の皆様に見ていただきたいと考え、同日に実施しました。多くの皆様の応援のおかげで、新記録もたくさん誕生しました。また、TKUテレビ熊本の取材もあり、思いがけないサプライズとなりました。



午後はPTA研修会、学級懇談会。PTA研修会は、「親の学び」プログラムトレーナーの田上先生を講師にお招きして、参加体験型の研修を実施しました。密を避けるため、ZOOM配信を活用して、各教室に分かれて参加していただきました。それぞれの教室で、熱心に協議をされている姿が見られました。有意義な研修となりました。たくさんのご参加ありがとうございました。

いつも子どもたちを応援していただきありがとうございます！！



山鹿市茶業振興協議会より、子どもたち一人一人にお茶の寄贈がありました。お茶に含まれるカテキンには、ウイルスを不活化させる効果があるそうです。そこで、ワクチン接種が行われていない小学生に、お茶を飲んでもらうことで、少しでも感染予防につなげたいとの思いから、今回の寄贈が計画されました。この日、協議会のメンバーが手分けして、市内の小学校すべてに寄贈が行われました。

また、民生委員の皆様からは、ミカンジュースの寄贈がありました。こちら、ビタミンCで風邪予防、元気に過ごしてほしいという願いを込めていただいたものです。

体育館前には、伊藤様から「挨拶通り」と素敵なメッセージを添えたかめを設置していただき、毎朝そこを通る子どもたちを迎えてもらっています。おかげさまで小

中学生のあいさつの輪がさらに広がっていています。

他にも、子どもたちの登下校を見守っていただいている地域の方々、体験活動にご協力いただいている方々が、たくさんいらっしゃいます。子どもたちのためにと、様々な形で応援していただき、本当にありがとうございます。



☆ ワクワクお仕事体験教室へのご協力ありがとうございます ☆

昨年度から計画されていた【保護者に先生となっていただき、お仕事体験をする「ワクワクお仕事体験教室」】ですが、今年度、やっと実施することができました。もともと、授業参観で一斉に親子で体験していただく計画でしたが、コロナ禍により一斉に実施することはせず、学年ごとに実施することにしました。秋から冬にかけて感染拡大も落ち着き、どの学年も計画を進めることができています。3学期に計画している学年もあります。

- 1年生…左官の仕事（壁塗り・どろ団子づくり）
- 2年生…農業の仕事・歯科衛生士（ブラッシング指導）
- 3年生…消防士の仕事（消防署見学・放水体験等）
- 4年生…福祉の仕事（アイマスク体験・車いす体験等）
- 5年生…家を作る仕事（鉋かけ等）
- 6年生…市役所の仕事（タブレット等が届くまで）・木を育てる仕事（間伐体験等）

どの学年も、鹿北小学校の保護者のお仕事の体験をさせていただきました。子どもたちにとって、将来の職業観や勤労観を育むことを目的としています。他にもたくさんの職業があります。「次はこんなお仕事体験もおすすめです！」という方、ぜひご協力ください。



☆GIGAスクールプロジェクト公開授業・実践発表を行いました ☆



各学校ではタブレットをはじめとしたデジタル機器を活用した教育改革を進めています。これからの授業においては、「情報を活用する力」を付けていくことが極めて重要です。今年度、鹿北小・中学校は、県教育委員会から指定を受けた山鹿市の中心校として研究と実践を続けています。

12月1日には、公開授業を行いました。小学校は、5年生の国語の授業を公開しました。タブレットを自在に活用し、自分の考えを伝えている子どもたちの姿を観ていただきました。

研究主任の牛島先生、情報教育担当の星子先生の2人が中心となり、本校の研究を推進してきました。また、他の教職員も試行錯誤しながら一丸となって授業実践に取り組んできました。ICT支援員の方々も親身になって支援していただきました。これまでの取組で、大きな成果を上げることができたようです。子どもたちのタブレット活用技能が向上し、様々な場面で活用することによって「勉強が分かるようになった」とすべての子どもたちが答えていることが、最大の成果と言えるでしょう。

☆人権集会☆

先日、全校児童で「人権集会」を行いました。

熊本県人権子ども集会在、オンラインで配信されることになり、これまで、代表児童が参加していた集会の発表を、全校児童・生徒で視聴することができました。鹿北小・中は、山鹿市立鹿本小学校の取組みに学び、感想交流を行いました。新型コロナウイルス感染症の発生により、職場や学校で辛い思いをする人がいないような世の中にするため「相手が喜ぶようなことを考えてやろう」という取組みに、子どもたちからも様々な感想が出ました。また、各学年で学んだことを発表し、これから、どのような生き方をしたいかということについて、どの学年も堂々と発表してくれました。鹿北小学校の児童会で話し合っ考えた「鹿北小人権宣言」を一人一人が大切に、よりよい鹿北小を目指していくことができればと思います。



～鹿北小人権宣言～

「友だちのいいところを見つけよう」「ふわふわ言葉をふやそう」「自分の気持ちを伝えよう」

☆ がん教育講演会「いのちにありがとう」高濱伸一先生 ☆

12月16日（木）5～6時間目に5・6年生を対象にがん教育講演会「いのちにありがとう」を開催しました。「NPOいのちをつなぐ会」事務局長 高濱 伸一先生を講師にお招きし、ご講演いただきました。ご自身ががんになられた経験や、交通事故で最愛の息子さんを亡くされ、何度も『いのち』に向き合っられた高濱先生のお話に、子どもたちは、真剣に聞き入っていました。子どもたちからは、「これからも自分のいのちを大切にしたい。」「今、私の側にいる人達を当たり前と思わずに、その人が生きていることに感謝したい。」「これから自分のいのち、周りの人のいのちをむだになくさないように、自分を信じて生きていきます。」という感想が聞かれました。高濱先生、貴重なお話をありがとうございました。



未来プロジェクト ～広がれ思いやりの輪～

今年度も1学期にスタートした「未来プロジェクト」。5年生が中心となり児童会で取り組んでおり、奇跡のひまわりや花の種をチューブに詰めてタオルハンガーを作り、たくさんの方へ届けています。5年生は連日昼休みを利用して作り続け、全児童の協力を得て、約300個のタオルハンガーができました。

奇跡のひまわりとは、阪神淡路大震災で亡くなった少女の自宅に咲いたひまわりから取った種で、工前校長から受け継いだものです。大輪の花を眺めることで、「勇気」「防災」「思いやり」などの思いを持ってくださることを願って地域の皆様やお世話になっている方々などへお届けしています。どなたにも喜んでいただき、子どもたちの思いが多くの方々に伝わっているようです。



これからもこの「未来プロジェクト」で作成したタオルハンガーは、いつもお世話になっておる地域の方々へ、お渡ししたいと思っております。ぜひ欲しいという方は、鹿北小(32-3334)までお知らせください。